

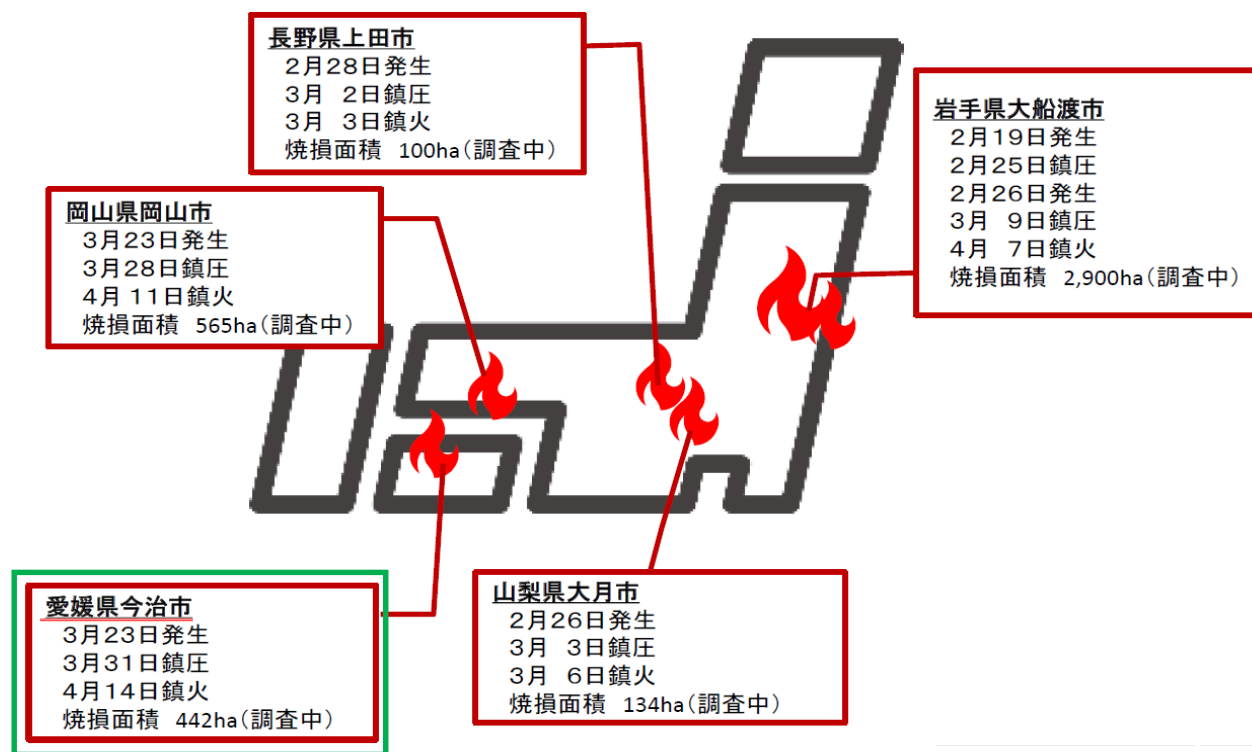
今治市林野火災の概要及び被災森林の概要について

愛媛県東予地方局森林林業課

1. 林野火災について (全国での発生状況：R7.2～3)

- 令和7年2月から3月にかけて、岩手県大船渡市をはじめ、各地で大規模な林野火災が発生
- 焼損面積が100haを超える規模の林野火災は、近年、年間0～1件/年程度で推移してきたが、令和6年は3件、令和7年は既に5件発生（令和7年4月14日現在）。

■ 令和7年2月から3月にかけて各地で発生した林野火災 (焼損面積が100ha以上の規模のもの)

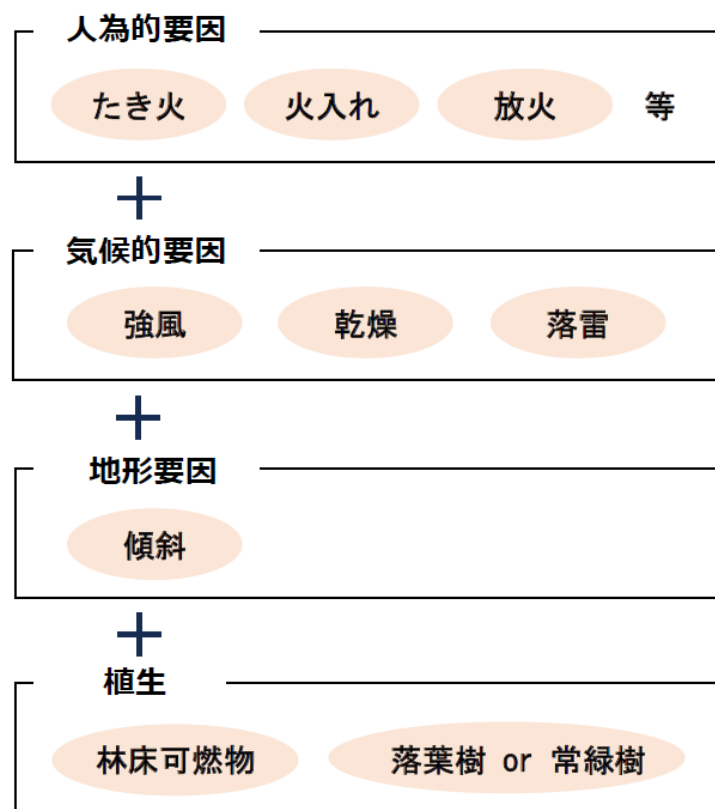


※ 林野庁HP資料より

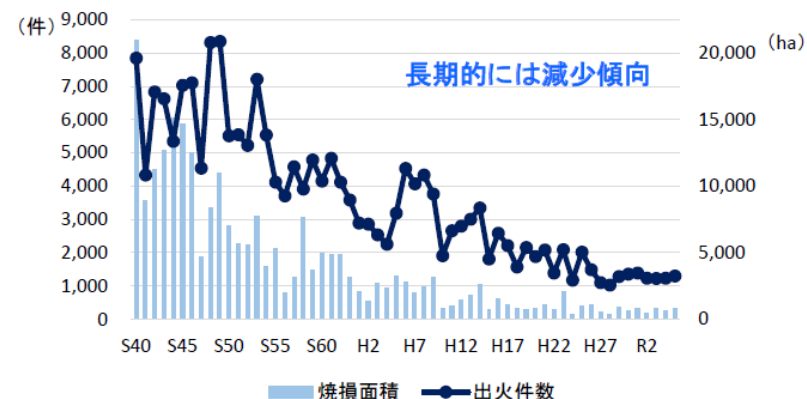
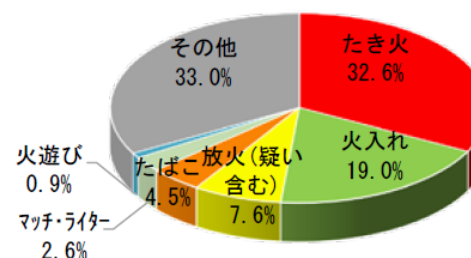
1. 林野火災について (全国での発生原因と傾向)

- ▶ 我が国の林野火災は、「人為的要因」に対象の「地形要因」「植生」等の条件が加わり発生。
- ▶ 原因が分かっているものの内、ほぼ全てが人為的要因で発生しているが、件数は長期的に見れば**減少傾向**。

■ 林野火災の要因



■ 我が国の林野火災の傾向

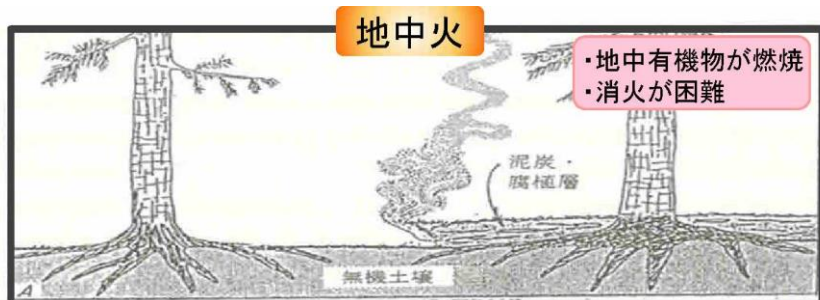


※ 林野庁HP資料より

1. 林野火災について (火災の種類と発生しやすい森林)

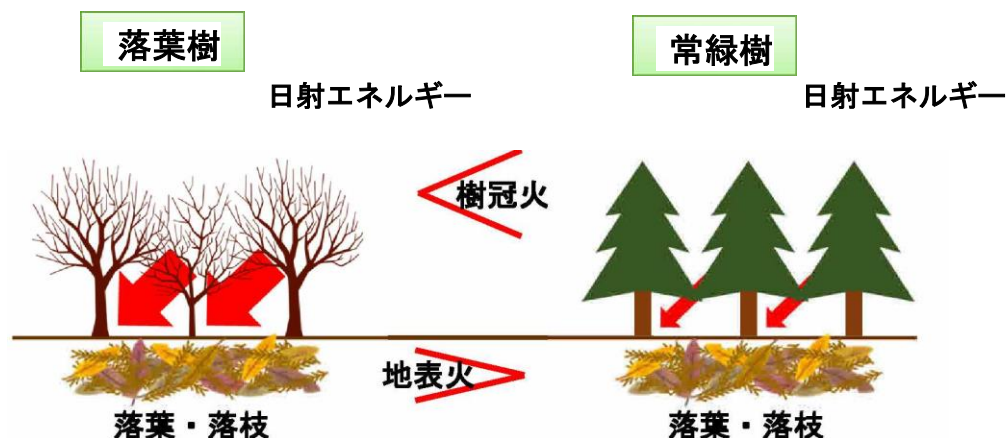
➤日本の林野火災の多くは地表火(ちひょうか)であるため、一件当たりの規模は小さいが、樹冠火(じゅかんか)に拡大すると、被害面積が大きくなり、延焼速度も大きくなる。

■ 林野火災の種類



林野弘済会「林野火災対策の解説」より作成

■ 林野火災の種類と樹木の関係



- 日本では冬場に空気が乾燥するため、林野火災のリスクが高まる。
- この時期に落葉し樹冠に隙間がある落葉樹は林床にある落葉落枝が乾燥しやすいので、林野火災の発生危険度が 高いといえる。(地表火が起こる可能性)
- 一方、強風や傾斜などで火の勢いが増した場合、樹冠に 葉や小枝が多い常緑樹の方が燃えやすいといえる。(樹冠火が起きやすい)

※ 林野庁HP資料より

2. 令和7年今治市林野火災の概要について

- 1 出火場所： 愛媛県今治市長沢付近
- 2 出火日時： 令和7年3月23日 15時53分 覚知
- 3 鎮火日時： 令和7年4月14日 15時00分 (23日目)
- 4 出火原因： 調査中
- 5 被害状況：
 - ▶ 森林焼損面積： 481.6^{ヘクタール}
(今治市：448.0^{ヘクタール} 西条市：33.6^{ヘクタール})
 - ▶ 人的被害： 負傷者 4名、
 - ▶ 建物被害： 今治市 27棟（住宅5棟、空家7棟、非住宅14棟）
西条市 1棟（非住宅1棟）
- 6 消火活動： 今治市・西条市消防本部、消防団、
愛媛県広域応援隊、緊急消防援助隊等 延べ6,681人

2. 令和7年今治市林野火災の概要について

- 愛媛県における大規模林野火災（平成以降、100ha以上、5件）

単位：面積 ha

出火年月日	出火場所	出火原因	焼損面積	備考
H5. 2. 13～H5. 2. 16	土居町天満	不明	145. 20	
H7. 3. 9～H7. 3. 16	岩城村長江	枯枝焼却火延焼	142. 00	
H17. 5. 28～H17. 6. 2	今治市大三島町	放火	133. 00	
H20. 8. 24～H20. 8. 29	今治市朝倉上	不明	105. 00	国有林2ha消失(含まず)
R7. 3. 23～4. 14	今治市長沢ほか	調査中	481. 60	

平成以降、県内最大規模 ↑

2. 令和7年今治市林野火災の概要について

➤ 発生当時の状況

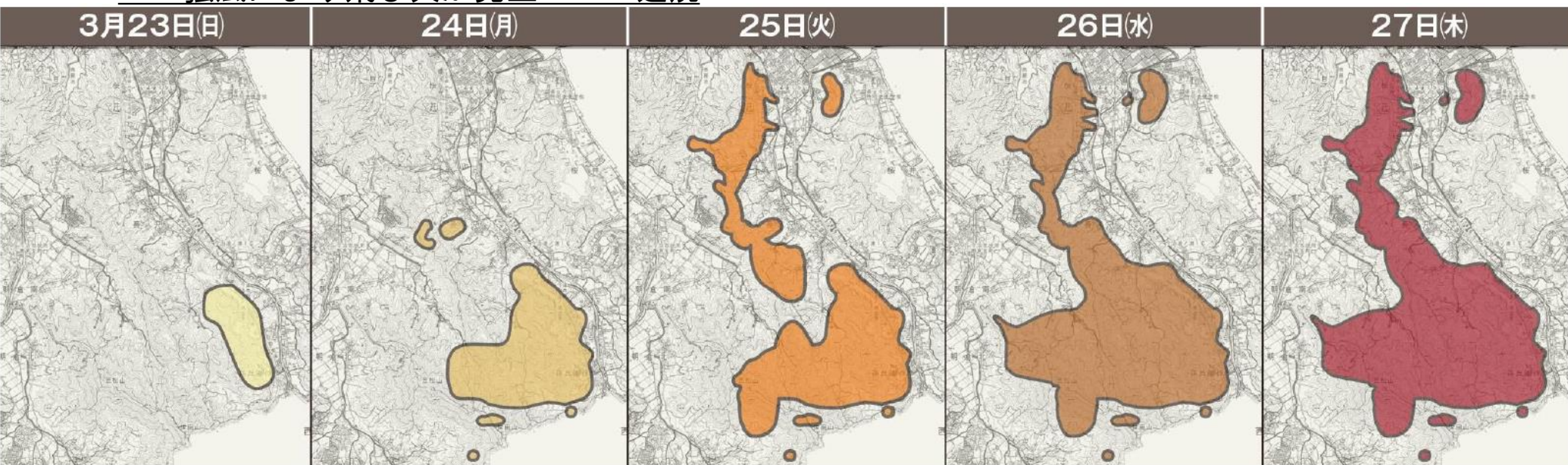
- ① **降雨が少ない**状態が続いたこと、② **乾燥**状態であったこと、③ **強風**が発生したことにより、大きく延焼



2. 令和7年今治市林野火災の概要について

➤ 時系列・延焼図

強風により飛び火が発生 ⇒ 延焼



15:53 林野火災覚知
今治市災害警戒本部設置
16:22 消防防災ヘリへの応援要請
17:23 西条市消防本部へ応援要請
18:30 今治市災害対策本部へ移行
20:40 避難指示発令 長沢地区
21:37 自衛隊へ災害派遣要請

17:50 避難指示発令 朝倉北地区
20:00 避難指示発令 緑ヶ丘団地
21:00 愛媛県消防広域応援の要請

15:00 避難指示発令
旦地区・郷桜井2丁目
17:10 緊急消防援助隊の出動要請
17:40 避難指示発令 桜井地区

1:10 避難指示発令 朝倉南乙野々瀬地区
避難指示対象合計
3,056世帯 5,988人（最大）
16:00 愛媛県災害対策本部会議で
災害救助法適用決定
（適用：3月23日付）

15:00 今治市社会福祉協議会が
ボランティアの募集を開始

今治湯ノ浦インターチェンジ南側の山から出火。今治市消防、県防災ヘリによる消火活動が行われるも、延焼が続く。

国道や今治小松自動車道の東側に延焼阻止線を設定し、空中からの消火活動を実施。火災をコントロールできていたが、正午頃から気象状況が激変し、強風が吹き始め、北方向へ飛び火して延焼範囲が拡大。

強風が吹き続け、24日時点の火災現場からさらに延焼が拡大し、飛び火によって複数の家屋が焼損。市内全域停電のおそれも。

懸命の消火活動により、下火になりつつあったが風は依然として強く予断を許さない状況が続く。

火の勢いが弱まる中、夕方から翌日未明にかけて待望の雨が降り、火の手や白煙はほとんど見られなくなる。

3/28（金）17:00 延焼阻止

3/31（月）11:00 鎮圧

4/14（月）15:00 鎮火

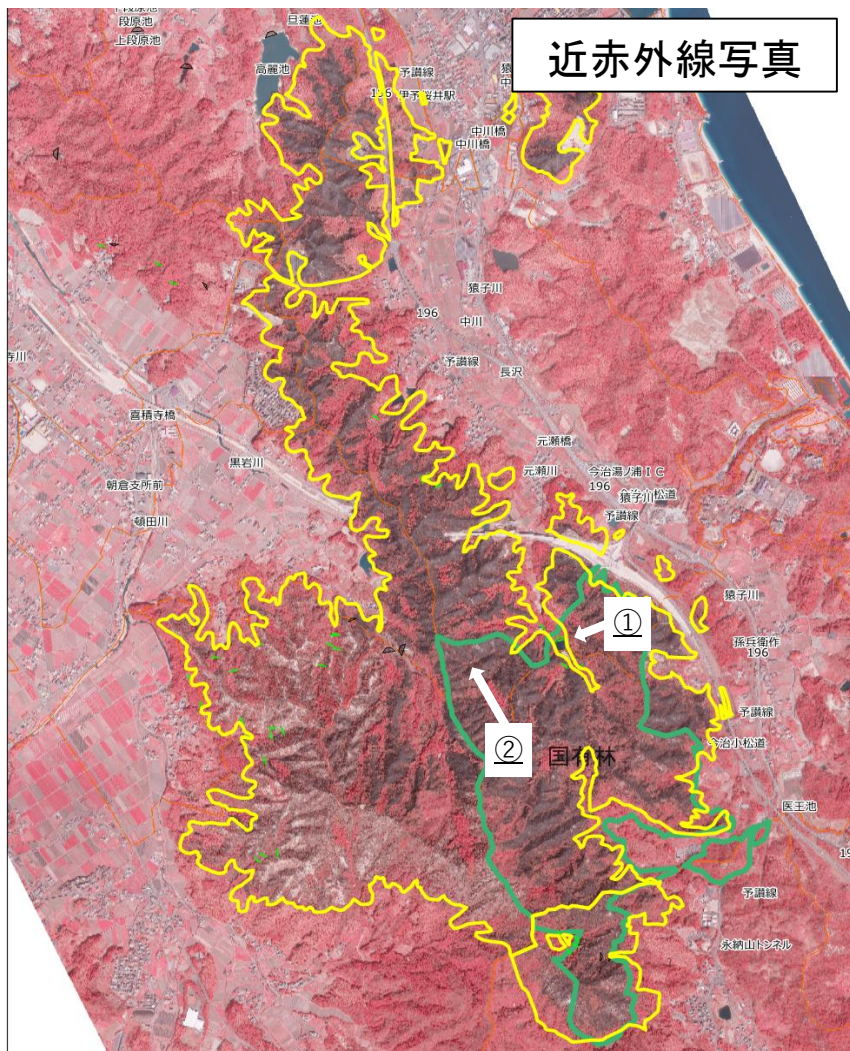
※ 今治市資料

2. 令和7年今治市林野火災の概要について

➤ 火災の特徴

急斜面で損傷の激しい箇所を多く確認

⇒ 樹冠火となった炎が**風の影響**で強くなり、急斜面を駆け上がるように広がったためと推察



①

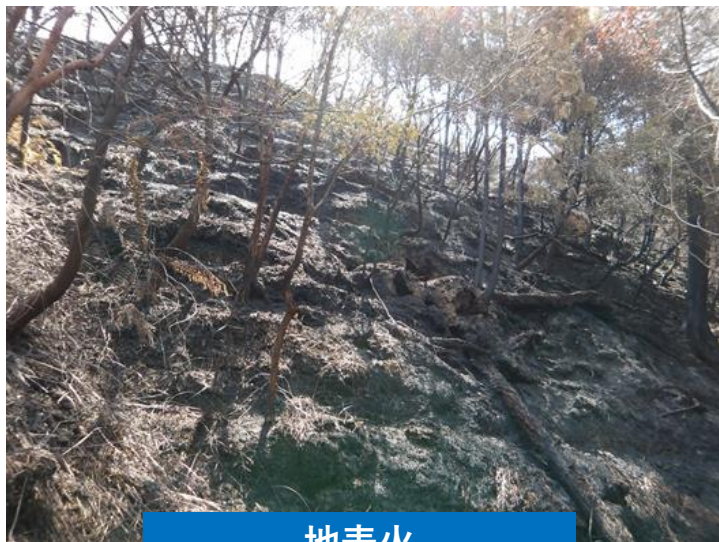


②

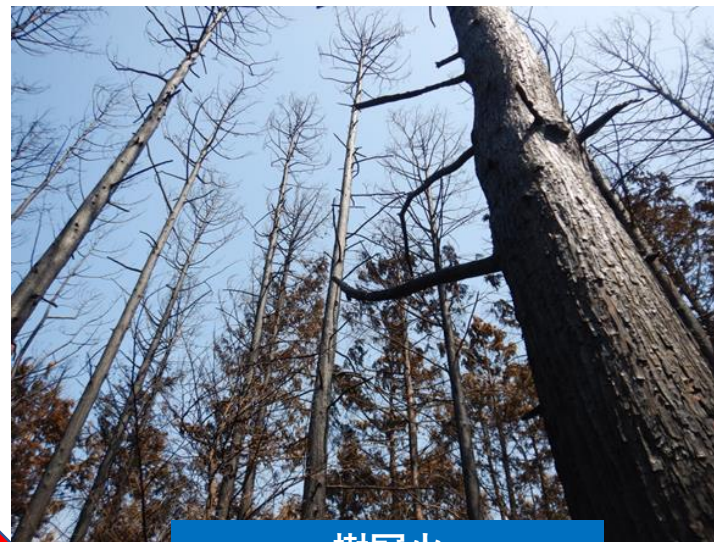


3. 被災森林の概要について

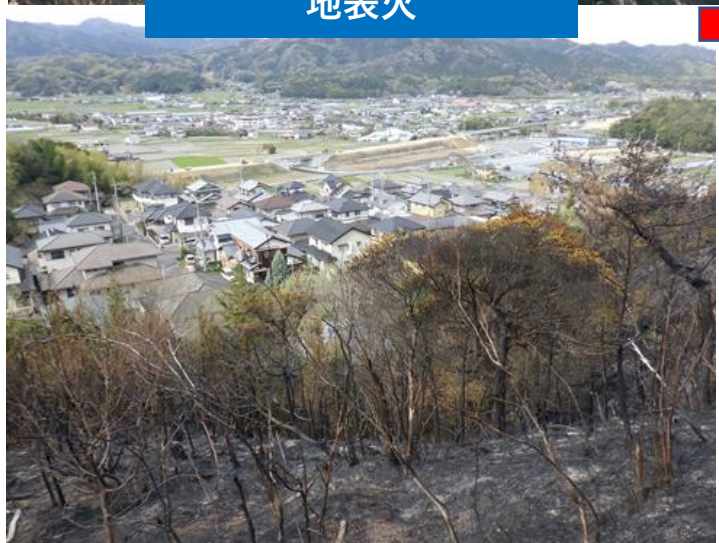
➤ 現地状況



地表火



樹冠火

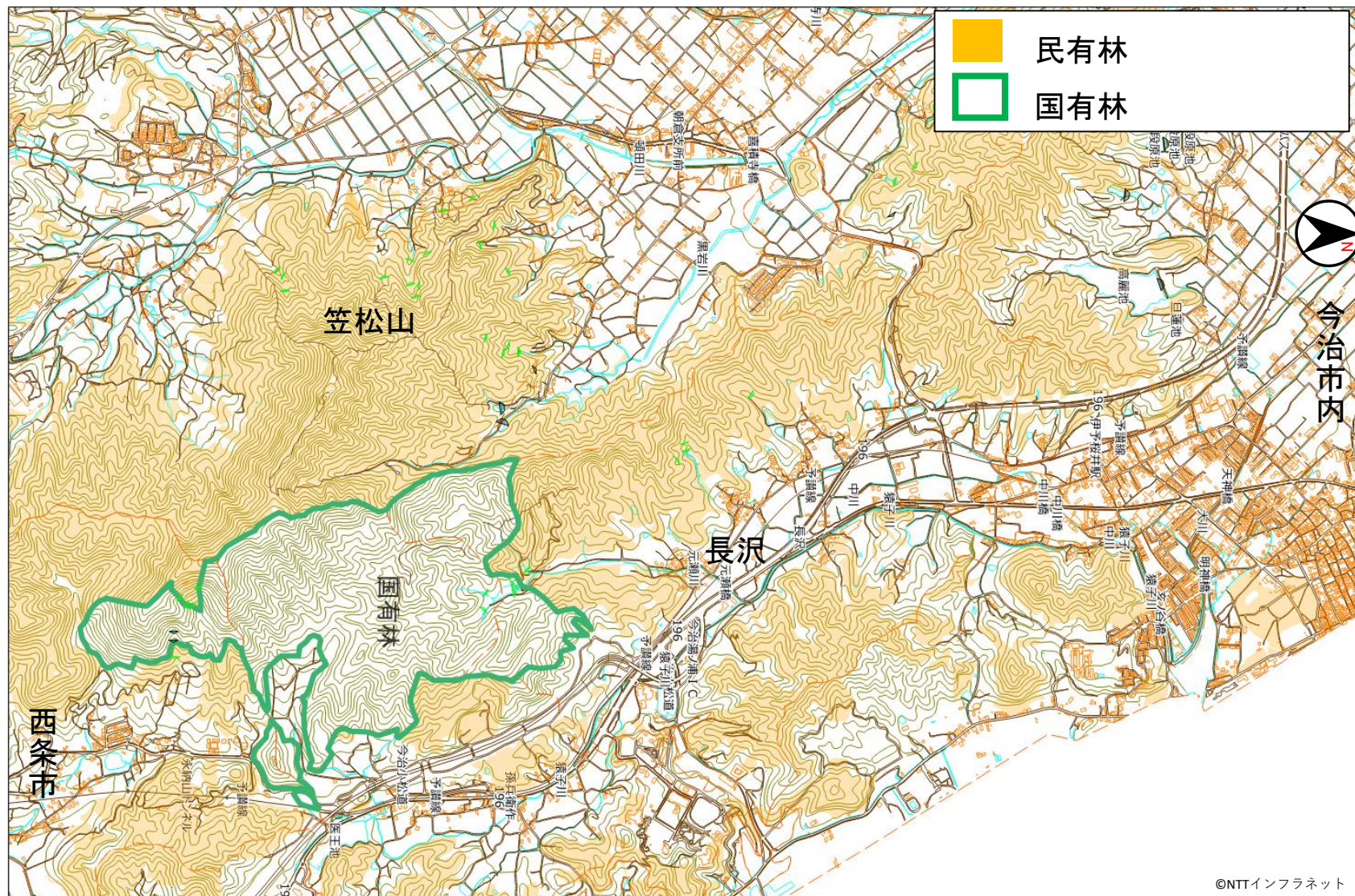


3. 被災森林の概要について

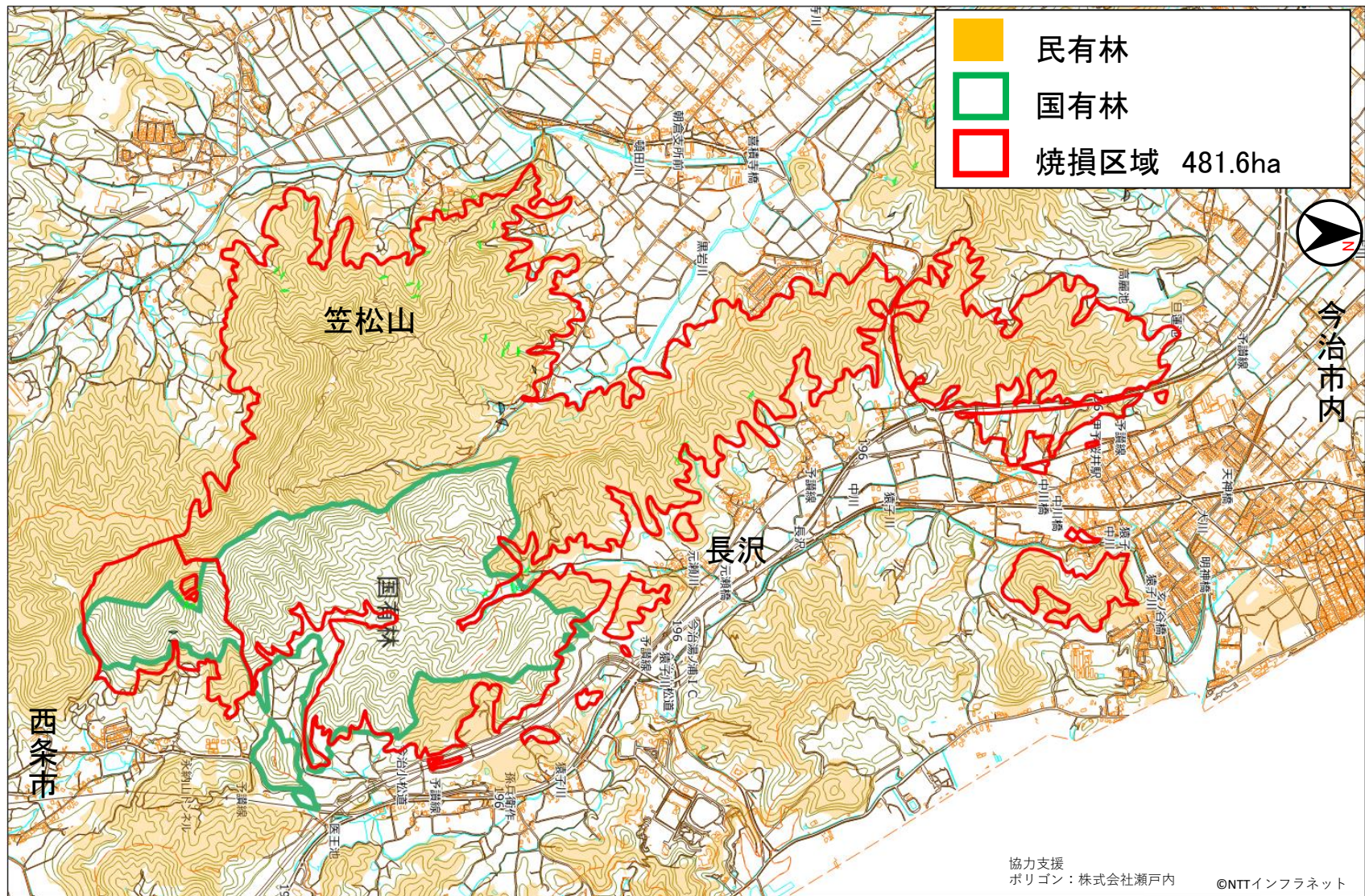
➤ 現地状況



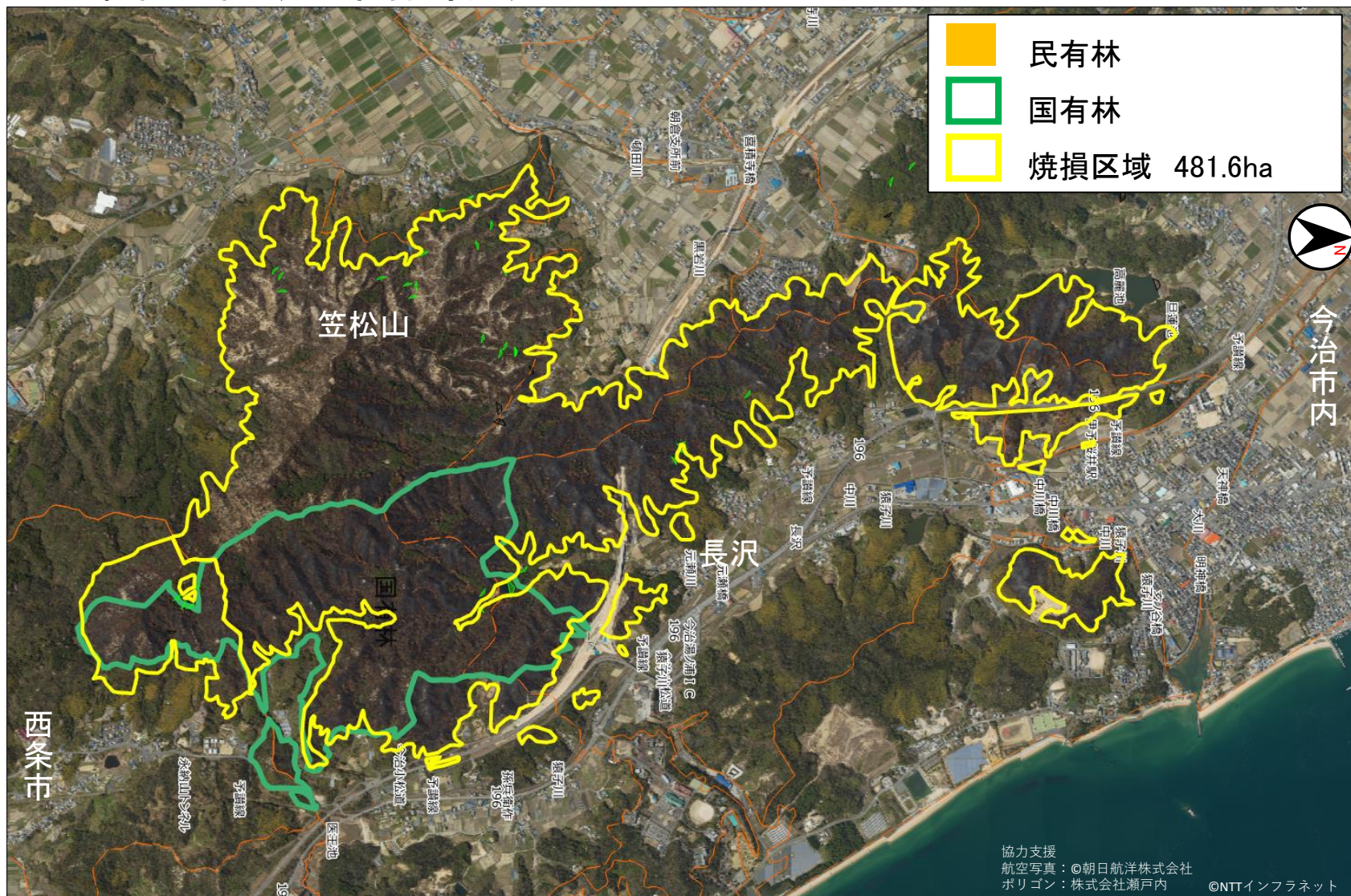
令和7年 今治市林野火災 地形図-民有林・国有林



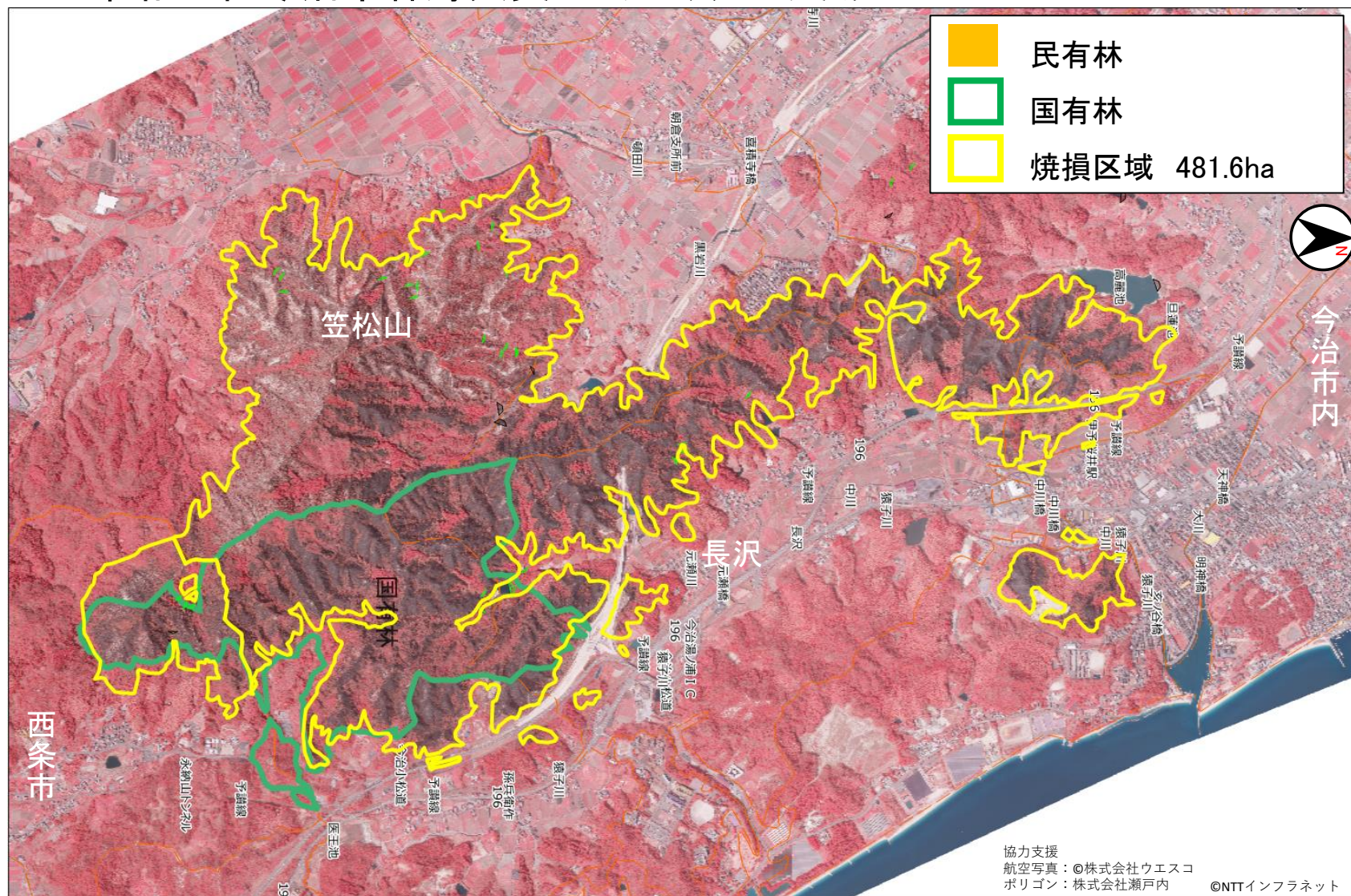
令和7年 今治市林野火災 地形図-民有林・国有林-焼け止まり



令和7年 今治市林野火災 航空写真-焼け止まり



令和7年 今治市林野火災 近赤外線写真-焼け止まり



3. 被災森林の概要について

➤ まとめ

➤ 状 況

■ 樹 種 広葉樹：針葉樹 = 約 8 : 2

■ 損傷度合い 急斜面・尾根部が比較的大 ※自然回復力を見定める必要

■ 灰や土砂の流出： 雨水が集まる箇所では表土の流亡がみられる

今後の降雨により、灰及び表土が流出することで、二次被害が発生するおそれ



➤ 対 応

■ 「緊急度」、「森林の損傷度合い」、「傾斜等地形」、「焼損前林床」に応じた対策が必要